

平成 29 年産米の市町村別の生産数量目標等の配分方針

1 平成 29 年産米の生産数量目標について

(1) 基本的な考え方

市町村別の生産数量目標は、さらなる需給バランスの安定に向けた取組を県下全域で推進していく必要があることから、平成 28 年産米と同様に、平成 27 年産米における市町村別の生産数量目標（面積換算値）のシェアを固定し、平成 29 年産米における高知県の生産数量目標（面積換算値）を当該シェアで按分することにより設定する。

(2) 算定手法

①27 年産米の生産数量目標の面積換算値に応じた配分

29 年産米の高知県配分面積×(27 年産米の市町村配分面積/27 年産米の全市町村配分面積の合計)

②市町村別に配分する生産数量目標の算出

①によって算出した配分面積×当該市町村の 10a あたり収量の平均値（以下「配分基準単収」という。）

2 平成 29 年産米の自主的取組参考値について

(1) 基本的な考え方

市町村別の自主的取組参考値は、生産数量目標と同様の考え方のもと、平成 27 年産米における市町村別の自主的取組参考値（面積換算値）のシェアを固定し、平成 29 年産米における高知県の自主的取組参考値（面積換算値）を当該シェアで按分することにより設定する。

(2) 算定手法

①27 年産米の自主的取組参考値の面積換算値に応じた配分

29 年産米の高知県配分面積×(27 年産米の市町村配分面積/27 年産米の全市町村配分面積の合計)

②市町村別に配分する自主的取組参考値の算出

①によって算出した配分面積×当該市町村の配分基準単収

※配分基準単収の求め方

中国四国農政局が公表する「水稻市町村別収穫量」に基づき、それぞれの市町村の過去 7 年の「10a あたり収量」のうち最高値と最低値を除いた 5 年間の平均値を算出し、そのうえで、中国四国農政局が公表する「作柄表示地帯」（本県は中東部と西部に区分）別の「10a あたりの平年収量」と作柄表示地帯に属する市町村の加重平均を整合させる補正係数を算出し、作柄表示地帯別に各市町村の平均値にその補正係数を乗じる。